

在宅医療連携拠点事業 事業報告

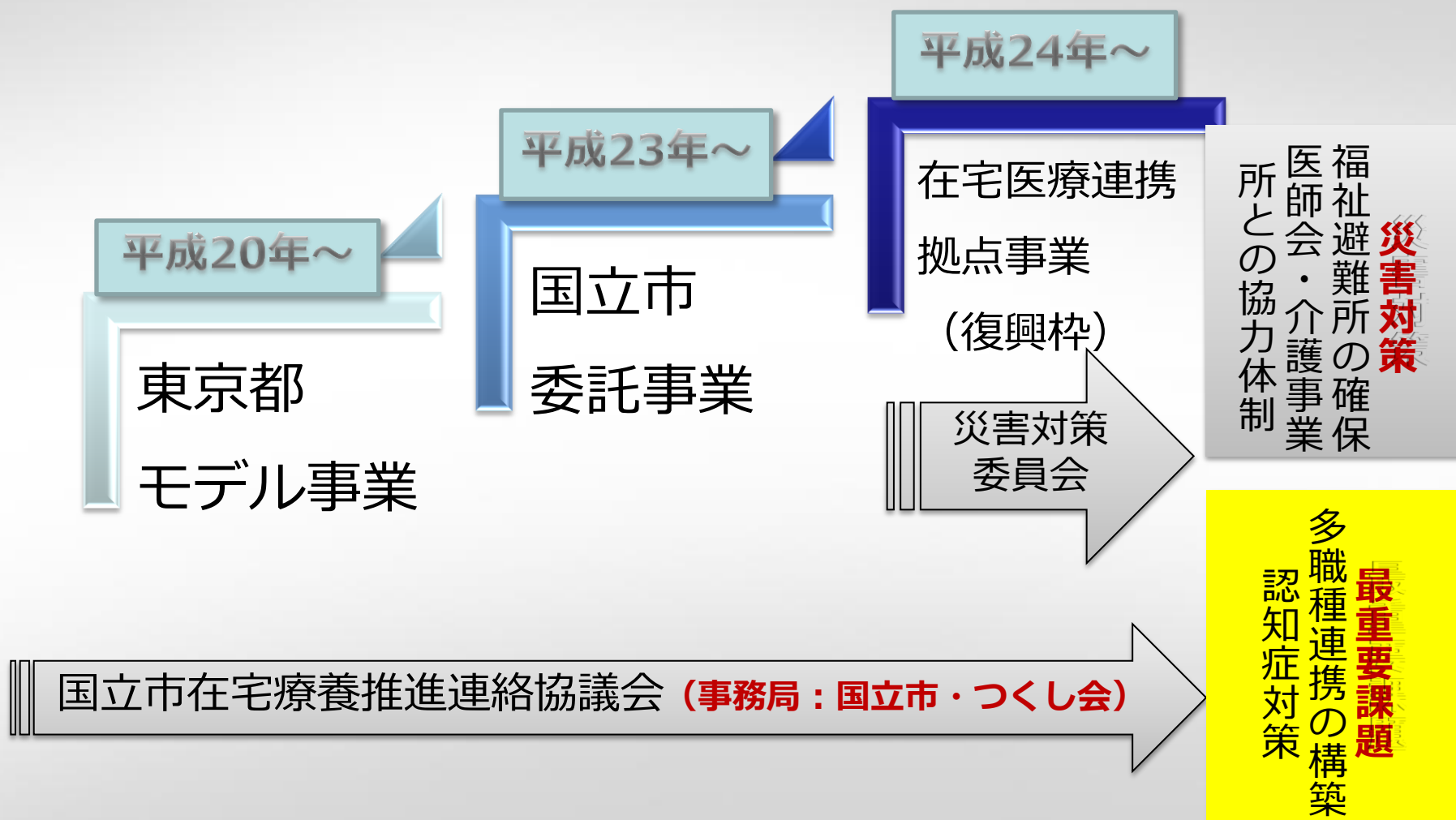


医療法人社団つくし会 新田クリニック

在宅医療連携拠点事業事務局

地域の在宅医療・介護の課題

国立市と新田クリニックの取り組み



拠点事業活動計画

災害対策について

国立市在宅療養推進連絡協議会分科会 国立市災害対策委員会

目的：

災害時における対策を行政三師会合同にて検討する

委員：

三師会（医師、歯科医師、薬剤師）・行政
在宅療養推進連絡協議会代表

検討内容：

- 医師会・介護事業所に発災時の協力体制を依頼
- 福祉避難所の確保
- 要援護者の把握
- 災害時に必要な備品の購入



拠点事業活動計画

多職種連携の構築

多職種連携事業

❁ 摂食・嚥下研修
(専門職向け、市民向け)

❁ シンポジウム

- ①福祉先進国デンマーク
- ②オランダBuurzorg
- ③新潟県長岡市「こぶし園」

❁ 地域ケア会議

❁ ケアマネ会議

医師と同じ目線で
話せて有意義でした

ケアマネと医師との
コミュニケーション不足



ケアマネ会議での一場面

拠点事業活動計画

認知症対策

認知症対策

- ❁ 認知症アクションミーティング
- ❁ 国立市認知症の日
- ❁ 認知症介護家族間
話合いの場（家族会）
- ❁ 認知症カフェ

皆、同じことで悩んでいるんですね…



認知症カフェでの一場面

認知症アクションミーティング

～わが町国立 アクションミーティング～

- ❁ **目的**：認知症になっても、住み慣れた地域でご家族と共に安心して暮らせる町づくり
- ❁ **ナビゲーター**：認知症介護センター副部長 **永田久美子氏**
- ❁ **参加メンバー**：市民・認知症当事者・医療・福祉従事者・行政他



アクションテーマ

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 市民の理解を高める研修（劇づくり） |
| 2 | いつでも集まれる場づくり |
| 3 | デイサービスがやれないことをやれる場づくり |
| 4 | 見守り隊 |
| 5 | 「私は認知症」と言えるキャンペーン |
| 6 | 本人家族が情報を得られるようなサービス |

「国立市認知症の日」

❁ 目的：

世界アルツハイマーデーにちなんで、毎年10月の第3土曜日を国立市において認知症の理解を深めてもらう市民啓発の日とする

❁ 活動：

10/20「国立市認知症の日」
参加者数 約278名



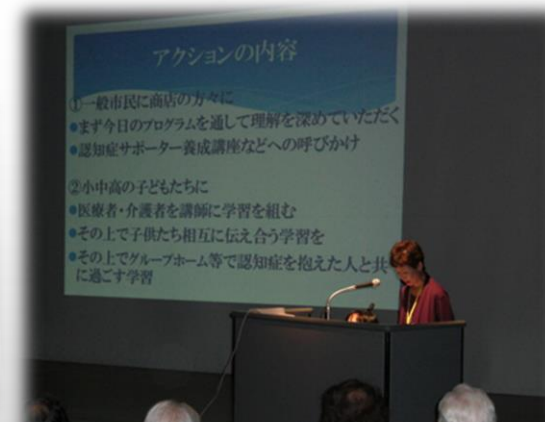
当事者による歌



寸劇



座談会



アクションミーティングの
実践報告

拠点事業活動計画

その他

在宅療養 市民勉強会

❁ 目的：

市民の意識改革及び、
在宅医療、療養に関する
教育を行う

(各地域ごとと少人数での開催)

活動実績

11月	西地区	17名
12月	谷地区	30名
1月	泉地区	23名
2月	東地区	27名
3月	北地区	(予定)



介護保険について
詳しく知りたい



どんな最期を過ごすか、自分、家族
で考え話し合う必要を感じた。

情報共有ツールのIT化

- ❁ **目的**：多職種が共通のフォーマットやツールを使用し、情報共有を図る
- ❁ **活動**：「生き生きノート」病院の情報と介護の情報をひとつにまとめた連携パスのノート版のWeb化を行った。
(予算180万円)
- ❁ **使う人**：病院、診療所・ヘルパー・訪問看護師・ケアマネ・本人・家族など



今後の課題

✿ 24時間体制の構築について

- ✓ 機能強強化型在宅療養支援診療所間で連携強化を図り、また拠点事業の取り組みにより、多職種間の連携を進めたが、**24時間365日の在宅ケアシステムの構築**という点で市内全体を見渡すと地域間の格差もあり課題は残る

✿ 市民啓発活動の評価について

- ✓ アンケートを概観した結果、**市民の在宅療養に対する理解度**が見えにくかった。また、在宅医療について本当に市民が知りたい事、困りごと等、**具体的なニーズ**の抽出も現状では不十分である

効果的な活動へ向けて

- ❁ 国立市在宅療養推進連絡協議会や国立市内の様々な事業には**市民が委員として参加**しており、重要な示唆を得ている
- ❁ さらに、参加した**市民より情報が発信**されることで、研修会や企画への参加者が増え、活動が活性化した
- ❁ **市民を巻き込んで事業を運営することが効果的な活動へ向けてのポイントである**と考える